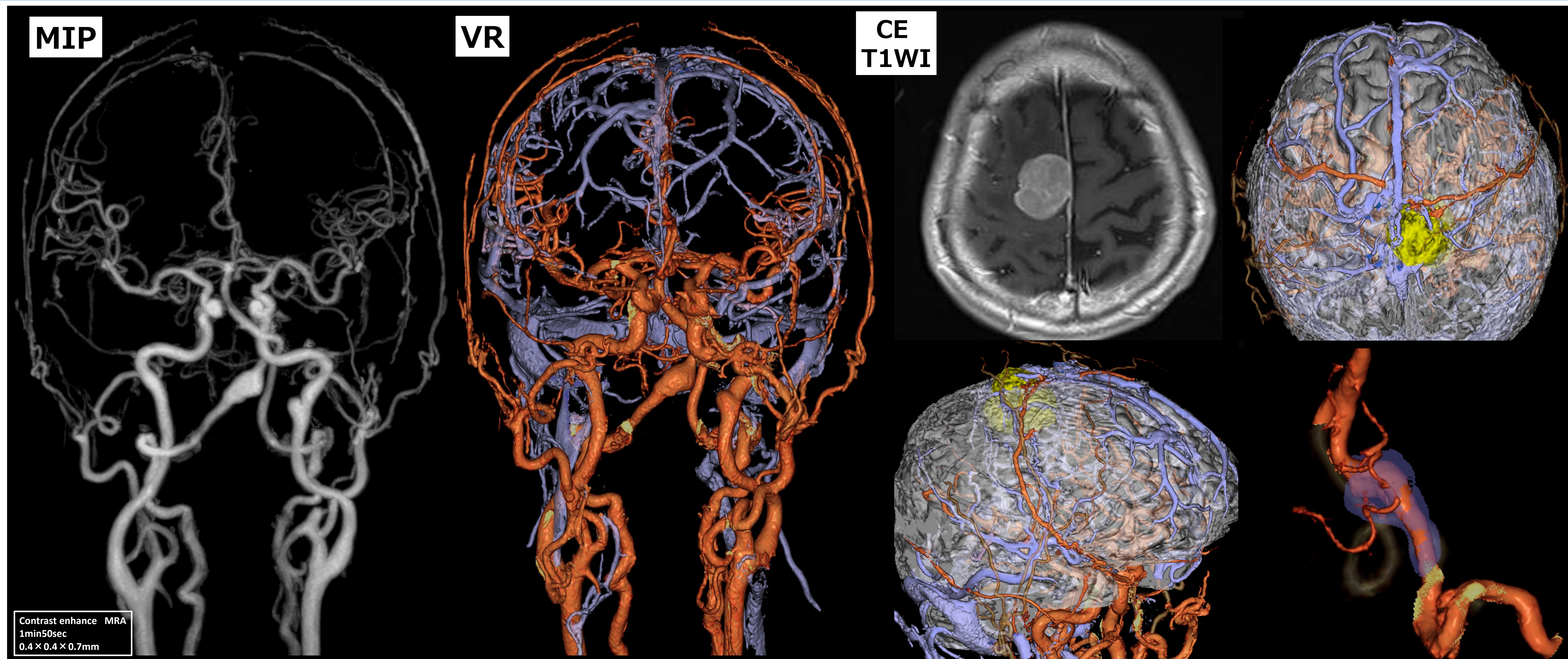


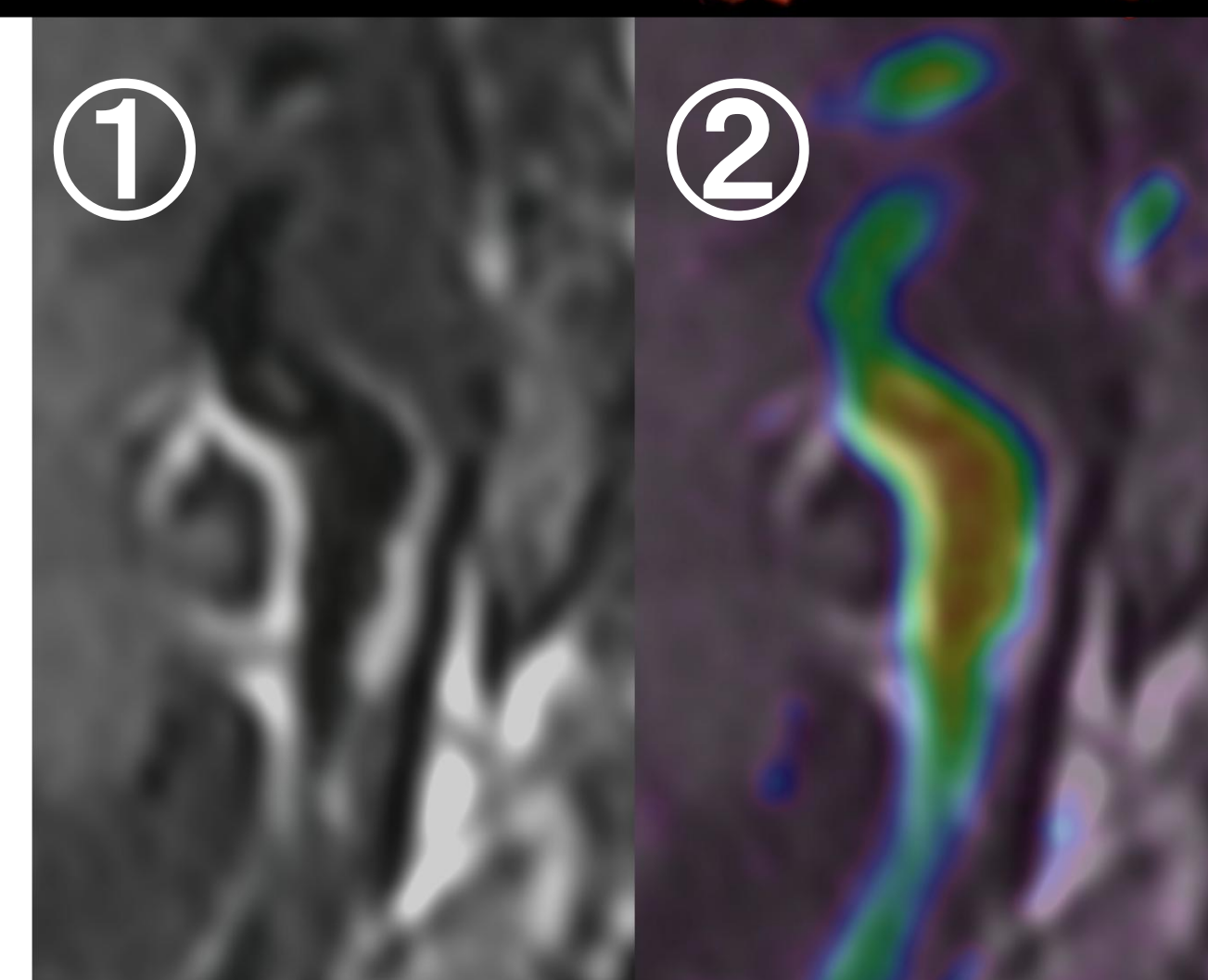
Contrast-enhanced **MRA** enables CTA-like imaging



今回提示した画像はすべて1回の造影MRI検査で取得した画像により作成しました！

造影剤を使用し至適タイミングで撮像を行うことにより、高分解能なMRアンギオグラフィを取得できた。

血液の乱流や流入方向に依存しないため小血管の描出に優れ、撮像時間は1分50秒でCTA様なVR・MIPを動脈と静脈の両方を作成することができる。同一検査で様々なシーケンスを取得することにより、各シーケンスとの位置ズレがない3D作成を可能とした。当院のMRI装置は稼働13年目で最新技術などは搭載されていないが基本パラメーターの調整で撮像することができ、どの施設でも撮影可能である。今回の症例は偶発的に発見された右椎骨動脈解離性動脈瘤と傍矢状髄膜腫を併発した患者で、造影MRAを撮像する事により解離性動脈瘤では偽腔への血流がないことが確認でき偽腔部紡錘状の形態と性状評価が可能となった。傍矢状髄膜腫では中硬膜動脈からの流入を血管を確認することができた。造影MRAとVessel Wall Image、造影T1画像をフュージョンすることで両方の疾患の検査を1度のMRI検査で完結した。今回の症例以外にもCTA様な画像で様々な疾患に応用可能と考え



① Vessel Wall Image
② 造影MRA+Vessel Wall Image